２０２６年１１月２日
日産自動車株式会社／福島日産自動車株式会社／
株式会社ナプロアース／損害保険ジャパン株式会社／
フォーアールエナジー株式会社／住友三井オートサービス株式会社

６社が「福島県及び浪江町での循環型社会の実現に向けた取組みに関する連携協定」を締結

～ 中古 EV と車載電池を福島県内で循環させ、浪江で再製品化・活用する仕組みづくりへ ～

日産自動車株式会社、福島日産自動車株式会社、株式会社ナプロアース、損害保険ジャパン株式会社、フォーアールエナジー株式会社、住友三井オートサービス株式会社の６社（以下「６社」）は、２０２６年１１月２日、福島県双葉郡浪江町の「EV GARDEN なみえ」において、「福島県及び浪江町での循環型社会の実現に向けた取組みに関する連携協定」（以下「本協定」）を締結しました。
本協定は、福島県内で使用された電気自動車（EV）を中古 EV として地域内で継続活用するとともに、EV としての使用を終えた車載電池を浪江町において検査・再製品化し、地域内で活用する“循環モデル”の構築に向けて、６社が相互に連携・協調して調査・検討を進めることを確認するものです。

■ 背景

近年、状態の良い高年式の中古 EV が海外へ輸出され、国内に車載電池が戻りにくくなっています。車載電池は、車での役目を終えた後も蓄電池として再利用できますが、そのためには車両を県内で使い続け、適切な時期に回収する仕組みが必要です。
浪江町には、日産自動車と住友商事の合弁会社であるフォーアールエナジーの浪江事業所があり、EV 由来の使用済み電池を検査・再製品化する拠点があります。中古 EV を県内にとどめて使い続ければ、電池は最後に浪江へ戻り、再び地域で活用できます。
また、新品の車載電池の製造時には１kWh あたり約１００kg の CO２が排出されるとされており※、電池の再利用はその削減にもつながります。
※出典：International Energy Agency（IEA）, ″Battery lifecycle emissions by chemistry in the Announced Pledges Scenario, ２０２３-２０３５″

■ 本協定で取り組むテーマ

６社は、次のテーマについて、各社が参加を表明したものから調査・検討を進めます。具体的な事業は、参加する当事者の間で別途契約を結んで実施します。

・中古 EV の供給、販売及びリーススキーム
・車両及び車載電池の価値評価
・充電電力の供給及び再生可能エネルギーの活用
・リース満了 EV の再活用及び使用済み車載電池のリパーパス
・車両及び電池の引渡方法並びに物流体制
・リパーパス蓄電池の販売、購入及び利用

・その他、本協定の目的を達成するために必要な事項

■ 目指す循環の流れ

段階	内容
① 仕入れ	４年落ち前後の EV を仕入れ、日産の診断で電池の状態（SOH）を確認
② 使う	個人には保証付きの中古 EV リース、法人・自治体にはメンテナンスリースで提供
③ 戻す	９年目前後にリース満了・下取りで返却し、電池と車体に仕分け
④ 解体・資源化	使用可能な部品は取り外して再利用、その他の車体・部品は解体して資源化
⑤ 再製品化（浪江）	浪江町内の拠点で EV 由来の使用済み電池を検査・再製品化
⑥ 地域で使い切る	再製品化した電池を蓄電池・交換用電池として地域で活用

電池に適正な価値が付けば中古 EV の価値も高まり、次の中古 EV が県内に残る――この好循環を浪江から生み出すことを目指します。

■ 各社の主な役割（想定）

当事者	主な役割
日産自動車株式会社	車載電池の状態（SOH）の診断・データの提供
福島日産自動車株式会社	中古 EV の供給･個人向け販売･個人向けリースの窓口(EV GARDEN なみえ)
株式会社ナプロアース	車両の解体・資源化、車両と電池の引渡し・物流
損害保険ジャパン株式会社	中古 EV 向け車載電池の性能保証の提供支援
フォーアールエナジー株式会社	浪江事業所における EV 由来使用済み電池の検査・再製品化
住友三井オートサービス株式会社	法人・自治体向けのメンテナンスリース

■ 協定の概要

協定名	福島県及び浪江町での循環型社会の実現に向けた取組みに関する連携協定
締結日	２０２６年１１月２日（月）
締結場所	EV GARDEN なみえ（福島県双葉郡浪江町）
当事者	日産自動車株式会社 福島日産自動車株式会社 株式会社ナプロアース 損害保険ジャパン株式会社 フォーアールエナジー株式会社 住友三井オートサービス株式会社
目的	福島県及び浪江町での循環型社会の実現に向けて、相互に連携・協調して調査、検討等を推進する
期間	締結日から５年間（以後１年ごとの自動更新）

■ 各社のコメント

福島日産自動車株式会社　代表取締役社長　金子 與志幸

「この度、本協定に名を連ねていただいた５社の皆さまに心より御礼申し上げます。

私どもは長年地元でクルマを販売する中で、中古 EV の『電池寿命に対する不安』が価値低下を招き、普及の大きな壁となっていると痛感しておりました。本協定は、この壁を６社の連携によって乗り越えるためのものです。

県内の中古 EV を仕入れ、電池状態をデータで診断・保証してリースでお届けする。そして使用後は解体し、電池を再製品化して地域で使い切る。各社の強みと本業を繋ぐことで、１台の EV が地域内で何度も価値を生む『循環型ビジネスモデル』を構築いたします。

電池の再製品化拠点など独自のインフラが集積し、復興を歩むここ、『浪江町』からスタートすることに大きな意義を感じています。地元に根ざす販売会社としてお客様の暮らしに寄り添いながら、浪江で生まれるこの仕組みを、EV 普及と資源循環の『福島発・全国モデル』として発信してまいります。」

日産自動車株式会社　日本ビジネス改革推進部　担当部長　長谷川 浩嗣

「昨今、日本市場向けに多くのメーカーが新型の電気自動車を導入しており、また新車 EV に対する補助金の動向も注目されています。

こうした中で中古 EV 市場は、販売面にとどまらず、資源循環の観点からも、多くの企業や消費者の皆様から関心を集めています。

関係各社と連携し、中古 EV を安心して購入できる市場づくりと環境価値の向上に取り組むことで、福島県から世界に示せる脱炭素社会のビジネスモデルの実現を目指してまいります。」

株式会社ナプロアース　取締役社長　相浦 光二

「当社は震災前、浪江町に本社を置いて自動車リサイクル事業を営んでおりました。思い入れのあるこの地で、中古 EV と車載電池を県内で循環させる本協定に加わることができ、大変うれしく思います。当社は自動車リサイクルの知見を活かし、役目を終えた EV を、部品・資源として余さず次へつなぎ、電池を確実に浪江へ戻す役割を担います。５社の皆さまとともに、浪江から循環型社会のかたちを示してまいります。」

損害保険ジャパン株式会社　福島自動車営業部　部長　藤島 憲明

「KANEYO グループ様が目指す、福島県内で EV や電池を循環させ地域で使い切る「循環型モビリティ」の実現に向け、本協定に参画できることを大変光栄に思います。

弊社は、産総研と共同開発した高度な保険設計技術を活かし「中古 EV 向け車載電池の性能保証の提供支援」を通じて実証事業を強力に推進します。

確かな安心・安全を提供することで、福島の復興と持続可能な未来へ貢献してまいります。」

フォーアールエナジー株式会社　代表取締役社長　村山 正覧

「当社は浪江町に事業所を構え、使用済み EV バッテリーの診断・再製品化・再利用事業を展開しております。

本協定は、福島県内で利用された EV とその車載電池を地域内で循環させる新たな挑戦であり、大変意義深い取組みであると考えております。

フォーアールエナジーは、これまで培ってきたバッテリー診断・再製品化技術を活かし、電池の価値を最大限に引き出すことで、福島発のサーキュラーエコノミーの実現と地域の脱炭素化に貢献してまいります。」

SMAS（住友三井オートサービス株式会社）　代表取締役社長　麻生 浩司

「浪江町で推進されている持続可能な地域づくりの取組に参画できることを大変光栄に思います。県内で利用された EV と車載電池を地域で循環させるという構想は、環境負荷の低減だけでなく、新たな地域価値の創出にもつながる可能性を秘めています。

SMAS は、これまで培った法人・自治体における EV 活用の知見を活かし、本協定の取組みに貢献してまいります。」

■ これまでの歩み

時期	出来事
２０１９年１２月	浪江町役場で日産リーフの納車式（日産自動車）
２０２１年２月	浪江町など３自治体と８企業による「新しいモビリティを活用したまちづくり連携協定」（浜通り連携協定）。福島日産も参加
２０２４年２月	第３回浜通り連携協定サミット in 浪江町で、浪江駅前の EV 拠点構想を発表
２０２５年９月	自動車リサイクルのナプロアースが福島日産グループに加わる（浪江営業所を保有）
２０２６年１１月２日	EV GARDEN なみえ 開所。本協定を締結
２０２６年１１月３日	EV GARDEN なみえ グランドオープン

■会社概要

会社名：福島日産自動車株式会社

代表者：代表取締役社長 金子 與志幸

所在地：〒９６０－８１０ 福島県福島市北町２番３２号

事業内容：日産車の新車・中古車の販売・整備、部品・用品の販売、リース ほか

URL：https://ni-fukushima.nissan-dealer.jp/

会社名：日産自動車株式会社

代表者：代表執行役 社長兼最高経営責任者 イヴァン エスピノーサ

所在地：〒２２０－８６８６ 神奈川県横浜市西区高島一丁目１番１号

URL：https://www.nissan-global.com/JP/

会社名：株式会社ナプロアース

代表者：代表取締役会長 金子 與志幸

所在地：〒９６０－０７１９ 福島県伊達市梁川町やながわ工業団地６３－１

事業内容：自動車中古部品の販売・輸出、中古タイヤ・中古ホイールの買取り・販売、中古自動車の買取り・販売・輸出 ほか

URL：https://www.naproearth.co.jp/

会社名：損害保険ジャパン株式会社代表者：代表取締役社長 石川 耕治

所在地：〒１６０－８３３８ 東京都新宿区西新宿１－２６－１

事業内容：損害保険事業、損害査定業 ほか

URL：https://www.sompo-japan.co.jp/

会社名：フォーアールエナジー株式会社

代表者：代表取締役社長 村山 正覧

所在地：〒２２０－６２２０ 神奈川県横浜市西区みなとみらい２－３－５ クイーンズタワーC ２０階

事業内容：リチウムイオンバッテリーシステムの開発・製造・販売、車載用リチウムイオンバッテリーの二次利用における製造・販売

URL：https://www.4r-energy.com/

会社名：住友三井オートサービス株式会社

代表者：代表取締役社長 麻生 浩司

所在地：〒１６３－１４３４ 東京都新宿区西新宿３－２０－２ 東京オペラシティビル

事業内容：各種自動車・車両のリース・割賦販売、整備修理・点検、中古自動車・車両の売買 ほか

URL：https://www.smauto.co.jp/

日産自動車株式会社、福島日産自動車株式会社、株式会社ナプロアース、損害保険ジャパン株式会社、フォーアールエナジー株式会社、ＳＭＡＳ（住友三井オートサービス株式会社）

■ 本件に関するお問い合わせ

・福島日産自動車株式会社社長室　報道関係者の皆さま：お問い合わせフォーム

※受付時間 ９：３０～１８：００（火曜定休）。

時間外・定休日のお問い合わせは翌営業日以降に回答いたします。

・日産自動車株式会社　グローバルコミュニケーションオフィス 企業広報チーム

田崎 基（TASAKI, Motoi） TEL：０９０－７７３６－７３７６

・株式会社ナプロアース／総務部　TEL：０２４－５７３－８０９１

・損害保険ジャパン株式会社　報道関係者の皆さま：お問い合せフォーム

・フォーアールエナジー株式会社／経営管理部 田口

TEL：０４５－２６３－６７１８　　報道関係者の皆さま：お問い合わせフォーム

・ＳＭＡＳ（住友三井オートサービス株式会社）　URL：https://www.smauto.co.jp/

担当:広報部　江中・廣田　　電話:０３－５３５８－６６６９　　e-mail:okyakusama@smauto.co.jp

【協定式の様子】



以上